

# ブレイクアウトルーム 質疑応答

- 共通性の高い質疑応答のみ公開しております

西宮市

防災危機管理課

若者の防災力アップへ！たくさん作った防災動画を届けたい！

Q. 対象となる年代はどのあたりを想定されているか？

A. 10代を含む若者。成長し、未来の20代3代になっていくことを想定して若年層への啓発を進めていきたいと考えている。

Q. コンテンツの中で扱う想定をしている災害は決まっているか？

A. 明確に定めていない。過去の震災の教訓を踏まえ、今後の防災に繋げていくことを意識していくように広めたいと考えている。

Q. これまでは開催していたイベントについて教えてほしい。

A. 給水や消防、避難所運営体験等の小学校での防災訓練は、昨年度は3回実施している。また、出前講座は地域から要望があれば出向いて実施しており、昨年度は89回の実施実績がある。

Q. 市民の防災意識の高まりを、どう測る想定か？

A. 市民意識調査は実施までに時間がかかり、事業の効果が見えづらいため、何で効果測定をするのかも合わせて提案していただきたい。

Q. 新たな防災動画のコンテンツ提供でも提案できるか？

A. 動画以外の啓発コンテンツも含めて、ぜひ提案してもらいたい。

尼崎市

総合政策局 立花地域課

引き継ぐのは若者との関係値！ナレッジやノウハウを蓄積する仕組みを作りたい！

Q. ノウハウの共有に関する課題に、ICTを使って解決したいという認識であっているか？

A. 現在は手書きで少し記録をしているレベルなので、ICTを活用しさらに効率的に記録ができればうれしいが、自分たちでもどういうものを使えばいいかまだ分かっていない。

Q. 継続利用する子どもは、どれくらいの期間を利用しているか？

A. プラザが新設されて2年経つが、利用者としては未就学児から高校生まで幅広い。小学生から中学生になった子が少しいるぐらい。高校生になってから、ユースプラザの運営の方を手伝いに来てくれる子も出てきた。異動のサイクルよりも長く利用してくれる人のために信頼関係などの引き継ぎもしていきたい。

## 三木市

### 総合政策部 縁結び課

目指せシナジー！買い物支援サービスと行政サービスを組み合わせた新しいビジネスモデルを構築したい！

Q. 市としての事業の進め方や事業者を求める点など、構想を知りたい

A. 3つの視点、買い物・コミュニティの醸成・趣味から、色々なパターンを組み合わせることで、今までになかった客層にリーチすることができるのではと思っており、できそうなもの、やったら面白そうなものについては積極的に取り組んでいきたいと考えている。実証事業なので、失敗を恐れず一緒に課題を見つけて解決方法を探していくぐらいの気持ちでご参加いただきたい。本事業を複合的に育て上げて、来年以降ブラッシュアップしていきたいと考えている。

Q. 現時点で具体的な事業内容はどのように考えられているか？

A. 実証事業ということもあり、やり方については提案をお待ちしている。イメージとしては、今までにないサービスとリアルをどう結ぶかというところであり、デジタルを活用するのも手段の一つと考えられるが、人同士がどこかで触れ合う機会があるのが良いと考えている。ワクワクする提案、みんなを笑顔にする提案を求めており、企業と行政掛け算で課題を解決し、双方にとってプラスとなるようにしたい。

## 高砂市

### 土木建設室 土木総務課、道路公園課

リアルタイムに危険箇所を案内して、交通事故をなくしたい！

Q. 事故は、自転車と自動車なのか、人なのか、自転車なのか？ 事故の種類によって解決手段が、カーナビやデジタルサイネージ等の設置など変わってくると考えている。

A. 自転車事故の相手は実数では把握できていない。看板等の対策としては仰る通り事故が起きやすい箇所に看板を設置して啓発を行っていくことも考えている。どちらかという自転車をきちんと走らせるほうに重きを置いている。

Q. 想定する実証実験は、看板による注意喚起を理想とされているということでよいか？

A. 認識の通り。

Q. 想定している場所はすでにあるのか？

A. これから場所は決めていきたいが、危険箇所をまず把握してそこから何箇所か設置していきたい。事故の時間帯等がわかれば良いと思っている。

Q. 何が原因で事故が減らないのかを検証する必要があるが、どのように考えているか？

A. 浜手に大企業が多く立地しており、通勤時間には渋滞が発生している。踏切で滞留していることも多いのでそれが一因であることも考えられる。

Q. フォーカスするのは、自転車の専用道か、生活道路かどちらか？

A. 場所は生活道路をメインにしたい。生活道路と幹線道路での出会い頭で事故が多いため。市内の自転車ネットワークの整備状況としては、そこまで多くできているわけではない。今年度も進めていくが数としては少ない。

神河町

ひと・まち・みらい課

神河町らしいまちなみをそのままに。共感を軸にした空き家のマッチングを実現したい！

Q. マッチングはどのあたりまで想定しているのか？マッチングの意味合いを教えてください。

A. 紹介できる物件はいくつかありますので、活用いただける事業者にお話をもってきてもらえたらと思っています。来年度以降で改修を行っていただくなど、事業化に向けて取り組んでほしいです。

Q. 物件の改修についての補助金を活用できるのか？

A. 県の助成制度に町が随伴する補助などがある。それ以外にも他の予算の確保に向けた支援をするといった形を目指す。あくまで事業主体は事業者様となるので、補助額の残りは事業者様の負担となります。

Q. 提案企業に求める専門性に不動産取引に関する知見と記載があったが、どこまで必要なのか？

A. 物件の仲介などは町と連携する町内不動産業者も紹介できるので、不動産に関する専門知識は必須ではありません。

Q. 空き家となっている古民家をすでに案内したりしているのか？

A. 神河町で鍵を預かっており、適宜案内もしている。9月に実施するイベントの中で公開見学の機会も作る予定です。

Q. 課題の対象の地域は景観制限地域になりますでしょうか？

A. 兵庫県景観形成条例の中村・粟賀町地区歴史的景観形成地区に指定されたエリアとなっており景観形成基準をホームページでも公開しております。地域の魅力向上に向けて皆でこれを守ることとしておりますので、御協力をよろしくお願いします。

朝来市

建設課

データを使って通学路に潜む危険をドライバーに知らせたい！

Q. 今まで行ってきた対策や、その中でわずかながらでも効果を感じたことがあれば教えてください。

A. 車からデータを2回に分けて取ってる、令和2年と4年。ハード対策を行った(グリーンベルトなど)前後で比較すると走行速度の低下がみられた。また、横断歩道手前での急ブレーキが見られたので、滑り止めとして茶色に塗って

強調したところ、急ブレーキの回数が減ってきたなど。

Q. ドライバーに注意を促すハードウェアを道路に設置するにあたっての制限についてお聞きしたい。例えば電気の提供は可能か？

A. 市道における道路の提供や電気の提供については全てではないが、必要な協力は可能であると考えている。一方、国道や県道については管理者が異なるので、協議はさせていただくが、絶対に実現できるとは言い切れない。

Q. データはどのように入手したのか。何らかのデジタルデバイスを利用して収集したのか？

A. デジタルデバイスは今のところ活用していない。車のデータについては、トヨタ自動車の車からデータを集めており、通学時間帯のデータを集めてマッピングを行った。マッピングを行ったデータをGIS上で公開しているが、そこまでしかできていない。現在は、自動車に対して注意を促しているわけではないので、そのようなデバイスがあれば提案してほしい。

Q. 想定される解決策はデータからデバイスを使って注意を促すということですが、市民など協力者を想定しているのか？

A. 今想定しているのは一定の危険な区間・危険な通学路において、そこを通行される方に協力していただきたいというのはあるが、基本的に一般市民の協力は難しいと考えている。

学校の近く(通学路)を想定しているため、学校の先生などの協力はいただきたいと思っているが、提案していただく内容によって変わってくると考えている。

## 洲本市

### 産業振興部商工観光課

海水浴のDX！ クラゲから日本の海を守りたい！

Q. 実証時期である秋になってもクラゲは海にいるのか？また、実証場所はどこを想定しているか？

A. 現地で実験するには広さ(南北に750m)などハードルが高く、難しいので、事前にクラゲを捕獲した水槽で実験するのがわかりやすく良いと考えている。水槽での効果が確認できれば、次年度機材を購入して現地で確認するというのも考えている。

Q. 現状何が効くかわからないため、実験ベースでもいいのか？

A. 難しい課題だということは承知しているため、実験ベースでも問題はない。何らかの方法であれば、ということなので、幅広くアイデアを募集したいと考えている。クラゲ以外の水中生物(エイ・サメ)についても効果があればありがたい。

Q. 水槽を実証に使う場合の想定のおおきさや、その場合の実証場所はどこになる想定か？

A. 水槽は3m×3m×(深さ)3~4mくらいを考えており、いけすのようなもので可能と考えている。実証場所については、効果の立会を行いたいので、できれば近畿圏内がありがたい。市で準備するとなると、水槽ではなく漁港の一部を想定しているが、その際はクラゲが発生しているかどうかはわからない。

南あわじ市  
農林振興課

畜産の環境問題を解決して、南あわじ市が誇る農業の循環サイクルを守りたい！

Q. 南あわじ市に牛は何頭くらいいるのか？酪農家の規模は？

- A. 和牛農家:4000頭(繁殖牛・育成牛・肥育牛)  
酪農家:2400頭(乳牛)  
酪農家の規模 和牛20-30 平均10頭 / 乳牛 40頭

Q. 糞尿を各農家に置いて堆肥を作っているのか、それとも堆肥センターがあるのか？

- A. 和牛農家については、排せつ物の量が少ないため、各農家で堆肥を作っている。酪農家においては、地区(地域)で設置されている。

Q. 匂いの検知の方法は？

- A. 今は人の鼻の感覚値でしかない。屋外となるため臭気計では安定して正確に計測できないため、何か良い提案があれば是非頂きたい。

兵庫県

県民生活部 暮らし安全課 地域安全対策班

繁華街をもっと歩きやすく！ 禁止区域での客引きを防止したい！

Q. 禁止地域以外でリスクの高い地域はあるか？

- A. 禁止地域以外では勧告などの措置は取れないが、姫路市のみゆき通りや、尼崎市の一部の歓楽街などが想定される。

Q. 現行犯ではないと難しいのか？ 過去に遡っての注意などの可能性はあるのか？

- A. 今のオペレーションは現行犯のみとなっている。過去に遡って注意する場合、防犯カメラの映像では客引きなのかどうか分からないので、指導が難しい。一定の営業行為(チラシ配布など)は認められているため、立っただけでの指導は困難。

Q. 客引きの人数はどうやってカウントしているのか？

- A. 路上に立っており、客引きと思われる人物を、定期的に目視で数えて計測している。

Q. 苦情はどのようなものがあるのか？

- A. しつこく客引きがついてきて不快、道の両脇にたたれて歩きづらいなどがある。

兵庫県

農業改良課、豊岡農業改良普及センター

有機農産物をもっと消費者へ！生産データの見える化で流通促進！

Q. 今後の実証実験のあとの発展性について、産地情報の見える化や消費者とのマッチングも課題でそこにつなげ

ていきたいという課題と今回の実証実験の事務の省力化・効率化という課題は隔たりがあるように感じるが、どのようにつなげていかイメージを教えてください。

A. 生産の体制、情報共有化をした上で、消費者等とのマッチングとなると思うが、今は見えにくい生産状況がはっきりすれば、消費者やバイヤーにも売りやすくなるため、マッチングもしやすくなるを感じる。そこまでできるものがあれば非常に役立つ。

Q. 県内で共同出荷に取り組んでいる生産者さんはどれぐらいいるのか？

A. 他地域(淡路、神戸、市川町)に聞いたところ、情報をまとめるところで苦労しているのは把握しているが、具体的な数は不明。

Q. 前予約(数量を含めて)というスタイルは可能なのか？

A. 対象としているグループでは、作付けの面積でおおよそは想定できるので、何社かにふっていくことはできるので、それが前契約に近い形につながるのでは。それが決まっていると安心してつくれるということもあるかもしれない。NGではないという認識。

Q. 出荷の流れ、対応について聞きたい。

A. バイヤーとの窓口担当がおり、事前にこの週に〇キロと振り分けをLINEで伝える。最終的に出荷数を経理の担当者がまとめて手書きで請求書を経理の人が作成している(一部クラウドを利用していたがほぼアナログ)。生産量が多い場合は色んなバイヤーに窓口担当が調整している。逆に足りなかった場合は2週間前ぐらいに調整をしている。一番短くて3-4週間のスパンとなっている。

加西市

教育委員会 学校教育課

加西①最先端のSTEAMプログラムを公立校で提供し続けたい！

Q. STEAMプログラムを提供する複数のスタートアップと、それらを取りまとめやコーディネートが出来る事業者の協働を想定されているが、複数のスタートアップや事業者を選定するのか？

A. 1課題につき1社採択。複数事業者のコンソーシアムでの応募は可能。

Q. 4-8時間の正規の授業時間を想定されているとのことだが、実証はいつ頃の時期を想定しているか？

A. 週2時間の総合学習があるので2週連続で4時間、より長ければ2、3学期に分けて1回ずつでも良い。

Q. 対象の学年等はあるか？

A. 小学校1年～中学3年を対象に考えている。STEAMプログラムが明確になったら学校から実施の希望を募る。なお、昨年度の意向調査の段階では2校が希望していた。

Q. 総合探究のどのようなテーマを希望するか？

A. STEAMの要素が複合的に絡まっていれば特にテーマは指定しない。



Q. 学校の先生自身が行えるプログラムや仕組みが良いのか、講師を派遣することを前提とする方が良いのか？

A. 現場の負担を減らすという意味では講師派遣で教師は当日の児童の安全管理などに注力することが望ましいが、プログラムによっては先生方が動いた方が魅力的になるならば柔軟に検討したい。

加西②教育DXで非認知能力は測れるか？！データでより良い教育を実現

---

Q. 事業者の確定後に実証校を小学校、中学校それぞれから募る想定か？

A. 事業者と実施内容が確定してから学校から希望を募る。なお、昨年度の意向調査の段階では小中学校合わせて数校が希望していた。

Q. 具体的に非認知能力とし測定したい能力は何か？

A. 挑戦・協働・創造の3つを重点として置いている。それらに分類される形で提示いただけると望ましい。

Q. 今まで試行錯誤の中で培ったデータなどはあるか？

A. パイロット校で大学の知見に基づいたアンケートを行ってきた実績はある。

Q. 生徒が使うデバイスは教育委員会支給のPC・タブレットか？

A. 1人1台ChromeBookを教育委員から支給。特別支援学級の小学部だけはiPadを貸与。

Q. 個人面談はどの時期に行われるか？

A. 小学校は夏休みに入った直後に教育相談を行う見込み。中学校は1・2学期末に1回ずつ全生徒対象に実施。

加西③経験とデータの相乗効果で、教師の授業力を次のステージへ

---

Q. 優れた授業の映像等のデータは所有されているのか？

A. 360度カメラで撮影した動画は複数存在するが、優れた授業の判断は難しい。

Q. 大学等と連携しながら3Cに取り組まれているのか？

A. 兵庫教育大学の教授をはじめ様々なステークホルダーと共に3Cに取り組んでいる。

Q. 若い先生方への継承がメインとなるのか？

A. しっかりと基礎を伝えることも必要だし、若い先生、ベテランの先生を問わず総合的な学習の時間の効果的な実施方法も課題。

Q. 教科学習も探究学習のどちらも対象になるのか？

A. 現場とテクノロジーをマッチングする必要があるので、できるところから取り組みたい。昨年度の意向調査の段階では3-4校が希望しており、様々なニーズがあった。

多可町

ふくし相談支援課

多可町① 紙から卒業！ケアマネージャー業務デジタル化への挑戦

多可町② 目指せ抜け漏れゼロ！ケアプラン作成効率化への道

多可町③ 専門職の訪問スケジュールとルートを最適化して業務を効率化したい！

※追って公開させていただきます。

豊岡市

DX・行財政改革推進課

豊岡①②日本初！？中山間地域におけるコミュニティ配送による社会的処方「兵庫・豊岡モデル」を実現したい！

Q. 過去の豊岡市の取り組みの横展開の事例として上がっていたジェンダーギャップの解消の事例ははどういった形で進んだのか？

A. 豊岡市が注目され、全国の自治体から視察が来た。その際に一緒に取り組んだ民間事業者を、もしよろしければ紹介します、という形で紹介していた。結果として、民間事業者がいろんな自治体で事業としてジェンダーギャップ解消の取り組みを広げて頂くことができています。

Q. 配達される方のインセンティブとはどういったものを想定しているか？また、金銭的なインセンティブを今回の提案サービスの中で想定したほうが良いのか？

A. インセンティブは、ポイントや地域通貨のようなもの、もうひとつは金銭を想定しているが、サービスの中に直接金銭をやり取りする機能は必要ないと考えている。

ただし、少なくともインセンティブを分配するために、誰が何回配達したといった履歴を残す機能は必要だと考えている。

Q. 採択企業に提供してほしいツールは、開発を期待しているのか？

A. 開発が必要かどうかはわからないが、何かしらのカスタマイズが必要なのかなとは考えている。もちろん既存のツールが使えるのであれば、それを適用頂いても問題ない。ただし、住民の方に使いやすいものになればありがたいと考えている。

また、あくまで限られた期間の中での実証実験であるため、開発できる範囲どうしても限られてしまう。また、コミュニティ配送自体が今年度で完成するというよりは、向こう何年かかかると思われることから、今後も一緒にやっていきたいといった感触を持てることが一つのゴール。

Q. 集積所までは、配送業者が届けるという理解で合っているか？ つまり、ここで一旦荷物の配送が終了することになるのか？

A. その認識で合っている。集積所からは地域住民側で各個人宅まで運ぶ形となる。



豊岡①②日本初！？中山間地域におけるコミュニティ配送による社会的処方「兵庫・豊岡モデル」を実現したい！

Q. 特定の公民館に配送が必要な荷物が届く頻度や大きさなどの想定もこれからの検証となるのか？

A. 頻度は毎日届くイメージ。大きさは昨年度とある大手物流会社によるドローン実証の5kgより大きくても良いと考えている。公民館等までは、ドローン以外の配達手段も含めて幅広い選択肢が想定される。ただし、30kgの米袋などは想定していない。あくまで人が運べる大きさというイメージ。

Q. 実証を検討している地区はどんな地区なのか？

A. ぽつんと一軒家という感じではないが、いわゆる農村で、規模感としては50件くらいの集落。高齢化率は45%を超えている。

Q. チームメンバーに入っている一般社団法人コード・フォー・ジャパンの役割について改めてお伺いしたい

A. 今回のチームの一員で、常に豊岡市とコミュニケーションを取りながら実施していくこととなるため、採択企業とも一緒に進めていくことになる。

シビックテックに強い団体だが、地域住民のコミュニティに入っていって合意形成を取ることのプロフェッショナルでもあるため、わかりにくい言葉を翻訳しながら、対話をしてもらうことを想定している。

基本的には採択事業者はツールの提供で、住民との対話はコード・フォー・ジャパン側といった役割分担を考えている。

Q. 距離的に頻繁に行くことが出来ない場合、現地でコード・フォー・ジャパンのサポートだったり頂けるのか？

A. 代わりにご説明頂く、遠隔で繋いで現地サポートを実施頂くなど想定できる。

Q. 地域住民の方はLINE等のサービスはすでに使われているのか？

A. まだそこまで把握はできていない状態だが、自身の周りの高齢者もお孫さんと連絡を取るためにLINEを使ったりするため、それほど問題ないと考えている。